



2022年11月2日

株式会社 阿波銀行

株式会社デジックの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社デジック（代表取締役 上野 雅弘、本社：大阪府八尾市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社デジック
所在地	大阪府八尾市竹濑東一丁目 209 番地
代表者	上野 雅弘
業種	生産管理ソフトの開発およびバルブ等のパッキング製造販売業
設立	1988年2月17日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社デジック 代表取締役 上野 雅弘

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取り組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	ハラスメントの禁止	社内におけるあらゆるハラスメント防止の活動を行い、社員がのびのびと働ける職場環境の整備に努めます。	① (1)行動指針の策定 (2)社外通報窓口の設置 (3)社内教育やパンフレット配布等による周知		
			② (1)2023年度までに行動指針の策定をし、ホームページで開示 (2)2023年度までに設置の旨を社員に通知 (3)2023年度までに社内パンフレットの完成・全社員へ配布		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① (1)従業員に対する、ポスター掲示やパンフレット配布等による普及・啓発 (2)従業員に対する研修の定期的な実施 (3)従業員参加型の環境保全活動 (4)環境取組みに関する表彰制度の整備		
			② (1)、(2)年2回の実施 (3)年8回の実施 (4)2023年までに整備		
社会	情報漏えいの防止	各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① (1)顧客情報取扱いに関するマニュアルの制定 (2)パソコンや記憶メディアの取扱いルール制定 (3)情報セキュリティの第三者認証取得（プライバシーマーク、ISO27001など） (4)情報漏えいに関する研修の実施		
			② (1)社内マニュアルを策定し、全社員へ配布 (2)取扱いルールを制定し、全社員へ通知 (3)情報セキュリティ事故、インシデント年間発生件数3件以下 (4)年1回研修を実施		
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営を目指して社員の声を積極的に収集し改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)コンプライアンスやハラスメントに関する相談・通報窓口の設置 (2)社員との定期的な会話 (3)社員満足度調査の実施 (4)社員提案制度、報奨制度の推進		
			② (1)2023年度までに窓口の設置完了 (2)労使懇談会を年2回開催 (3)年1回社員満足度調査を実施 (4)年間提案数144件・採用数48件以上 ラフルサーベイのポイント制度活用		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

